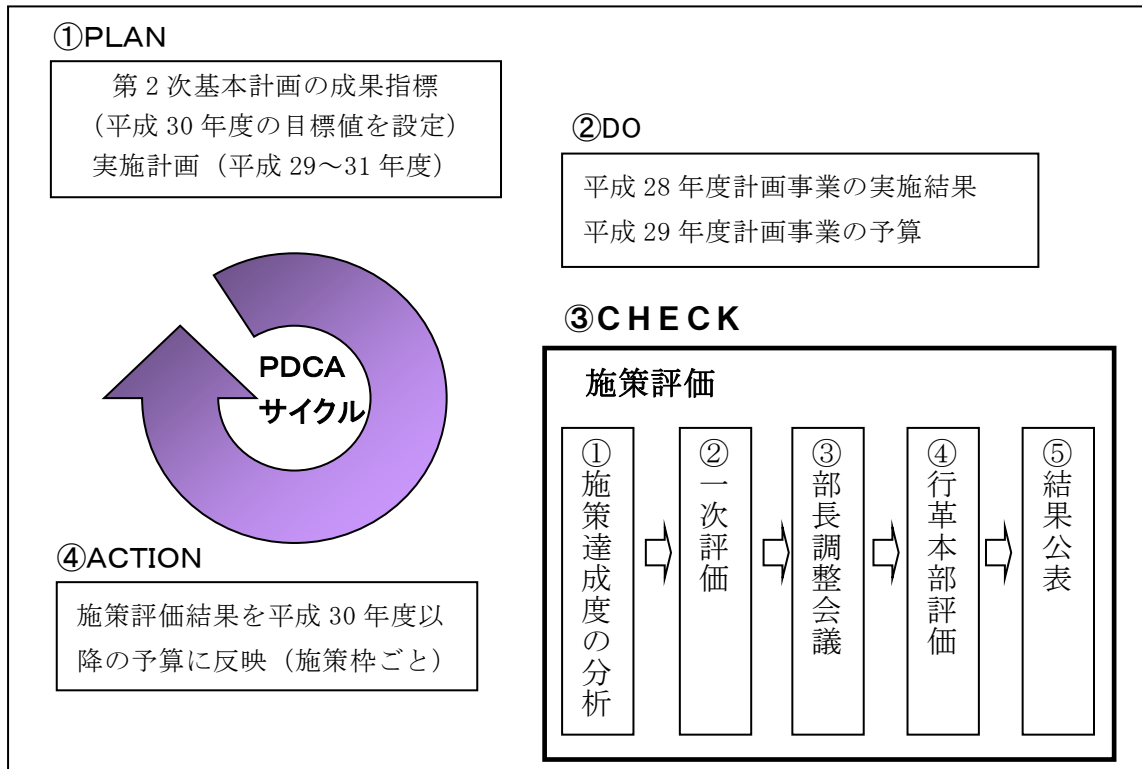


平成 29 年度 施策評価結果概要について

1 評価の流れ

平成 29 年度は、下図の要領で 36 施策に対して評価（Check）を実施しました。



① 施策達成度の分析

施策の達成度については、総合計画に掲げた成果指標の実績値を調べるとともに、市民の満足度と重要度について市民意識調査を実施して把握します。

② 一次評価

施策を主に担当する主管課長と関係課長が協議して、一次評価を行います。上記①の「施策達成度の分析」などから「施策の成果と課題」、「今後の方針」を整理し、総合評価を行います。また、総合評価と共に、施策内の事務事業の貢献度判定を行います。

③ 部長調整会議

施策の主管課長が評価した評価シートの点検等を行い、当該施策の方向性、施策内の事務事業等の確認をします。高度な視点から現実的な対応を協議します。

④ 行革本部評価

行財政改革推進本部（市長等経営層から構成）において、部長調整会議の内容を踏まえ、市の戦略を明らかにし、最終的な評価を行います。

2 評価結果概要

◆施策評価は、「施策実施コストの方向性」と「施策内容の方向性」をそれぞれ評価した上で、その結果から「施策実施方針」を導き出す仕組みとしています。

<施策実施コストの方向性>

各施策分野における今後の投下コストの方向性については、市民意識調査における満足度をベースに、政策目標の達成状況を加味して判断しています。

<施策内容の方向性>

各施策分野における今後の施策内容（事業メニューの幅）の方向性については、市民意識調査における重要度をベースに、施策の重要性の変化（国や都の制度変更や計画策定時の予測を上回る社会状況の変化に伴うもの）を加味して判断しています。

<施策実施方針>

それぞれ3つの類型で評価される「施策実施コストの方向性」と「施策内容の方向性」とを掛け合わせて、9つの象限に分類します。

◆平成29年度は、市民意識調査結果に加え、施策目標の達成状況や社会経済情勢の変化、各種法改正や国・都における施策の動向等を踏まえて評価を行い、以下の通りの結果となりました。

		施策実施コストの方向性		
		重点化	現状維持	効率化
施策内容の方向性	拡充	【Ⅰ】 成果の向上を図るため、コストの重点化を行う施策領域 9 創口2 子育て支援の拡充	【Ⅱ】 成果の向上を図りつつ、コストは現状を維持する施策領域 8 創口1 子どもの参画の推進 13 創口3 生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進 16 笑口2 高齢者福祉の充実 22 笑口3 障害者の社会参加の拡大	【Ⅲ】 成果の向上を図りつつ、コストを抑制する施策領域 7 み口2 健全な自治体の経営 17 笑口3 障害者福祉の充実 20 笑口1 健康づくりの推進 21 笑口2 高齢者の生きがいづくりの充実 24 環口2 みどりの空間の創出
	現状維持	【Ⅳ】 成果を維持するため、コストの重点化を行う施策領域 30 安口2 道路・交通網の整備 35 活口2 新産業の育成 36 活口1 まちの魅力の創造	【Ⅴ】 成果を維持しつつ、コストも現状を維持する施策領域 1 み口1 市民主体のまちづくりの推進 2 み口2 協働のまちづくりの推進 3 み口1 人権と平和の尊重 4 み口2 国際化の推進 10 創口3 学校教育の充実 11 創口1 生涯学習環境の充実 15 笑口1 地域福祉の推進 25 環口1 環境意識の向上 29 安口1 住みやすい住環境の整備 31 安口1 災害に強いまちづくり 32 安口2 防犯・交通安全の推進 33 安口3 危機管理体制の整備 34 活口1 産業の振興	【Ⅵ】 成果を維持しながら、コストを抑制する施策領域 5 み口3 男女平等参画社会の推進 6 み口1 開かれた市政の推進 12 創口2 学習活動の推進 14 創口4 文化芸術活動の振興 18 笑口4 社会保障制度の運営 19 笑口5 暮らしの相談機能の充実 23 環口1 みどりの保全・活用 26 環口2 循環型社会の構築 27 環口3 生活環境の維持 28 環口4 地球温暖化対策の推進
	絞り込み	【Ⅶ】 内容の見直しを図りつつ、コストの重点化を行う施策領域 ※該当する施策なし	【Ⅷ】 内容の見直しを図りつつ、コストは現状維持すべき施策領域 ※該当する施策なし	【Ⅸ】 内容の見直しを図り、コストを抑制すべき施策領域 ※該当する施策なし